

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価 計画

<p>学校名</p>	<p>唐津市立東唐津小学校</p>																																																						
<p>1 前年度 評価結果の概要</p>	<p>①児童の主体的な学びとなるよう指導方法を工夫・改善した結果、児童の表現力が伸び、「知・徳・体」の向上へとつながった。今後、「SDGs」の研究を中心に、学習活動と児童の意識との関連を明らかにし、各教科の学びと結び付けながら取組を一層充実させる。 ②「ひがしっ子」の合言葉のもと、児童の「出番・役割・承認」を充実させ、児童の頑張りを称賛してきたことにより、児童の自己肯定感の高まりが見られた。今後、児童自らが「気付き・考え・協働する」取組へとなるよう、指導・支援の充実を図る。 ③様々な活動の「振り返り」を行う活動が、児童自身の学びの確認だけでなく、自分の長所や授業で果たした役割などの気付きにもなり、自己有用感を高めてきた。今後も、キャリア教育の一環として、児童の夢や次の目標、「志」とつながるよう、取組を継続、充実させる。 ④1人1台タブレット端末を授業に取り入れ、個別の学習状況に応じた問題に取り組みせたり、児童全体の学習意欲を喚起させたりすることができた。今後、誰もが安心して授業に参加でき、友達と協働して学ぶことができるような活用方法や指導、支援の工夫を充実させる。 ⑤業務改善・教職員の働き方改革への職員の意識は定着してきた。今後は、管理職のマネジメントの下で、職員の魅力を伸長するとともに、限られた勤務時間内に、児童への指導、支援の質をどのようにして高めるかを組織的に検討し、更なる充実を図る。</p>																																																						
<p>2 学校教育目標</p>	<p><b>みんなと確かに伸びる子どもの育成</b>          ひびきあうあいさつ(体力・健康・生活の向上)          がんばる勉強・読書(学力の向上)          しっかり仕事(生き方・キャリア教育の推進)          コミュニケーション(地域連携・仲間づくりの推進)</p>																																																						
<p>3 本年度の重点目標</p>	<p>①児童が主体的に学習や生活、学校行事等に関わる組織づくりと手立てを工夫し、児童の「知・徳・体」の向上を目指す。          ②「ひがしっ子」の合言葉のもと、児童・職員・保護者・地域が目標を共有し、連携を深めながら、児童の「知・徳・体」の向上を図る。          ③キャリア教育推進のための手立てを確立し、児童の「志」の確立と自己有用感の向上を図る。          ④個別最適な学びと協働的な学びの視点に立ったインクルーシブな特別支援教育の推進を図る。          ⑤業務改善・教職員の働き方改革による、ゆとりある教育活動の推進を図る。</p>																																																						
<p>4 重点取組内容・成果指標</p>																																																							
<p>(1)共通評価項目</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">重点取組</th> <th rowspan="2">具体的取組</th> <th rowspan="2">主な担当者</th> </tr> <tr> <th>評価項目</th> <th>取組内容</th> <th>成果指標(数値目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">●学力の向上</td> <td>●全職員による共通理解と共通実践</td> <td>●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師の割合が80%以上</td> <td>・学習の定着度を絶えず把握し、個々の課題解決も意図した、実態に基づく教師個々のマイプランを作成・実施する。 ・学習基盤となる児童の語彙力・読解力を高めるため読書や授業内での対話を充実させる。</td> <td>学力向上コーディネーター</td> </tr> <tr> <td>○全教科で自分の考えを伝え合う活動を実践する</td> <td>○児童の学習活動に対して「場面や相手に応じて自分が考えたことを分かりやすく伝えることができる」と回答した児童の割合が80%以上</td> <td>・児童が原稿を作らず、その場や相手に応じて、考えて伝える活動を充実させる。 ・友達の発言に反応したり、反応に応じて伝え方を調整したりできるよう指導する。</td> <td>研究主任・教務主任</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">●心の教育</td> <td>●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動</td> <td>○ふれあい道徳や人権教室(なかよし道徳)後の振り返りや感想において、肯定的な回答をした児童の割合が80%以上</td> <td>・道徳や人権・同和教育の研修を共同して行い、授業実践を深める。 ・外部講師を積極的に招き、児童に「命」「仲間」「共生」について考えさせる。</td> <td>人権・同和教育担当</td> </tr> <tr> <td>●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実</td> <td>○いじめ防止等(いじめの定義、いじめ防止等)についての取り組み、事案対処等)について、組織対応ができていると回答した教師の割合が85%以上</td> <td>・毎月末に全児童を対象とした「なかよしアンケート」を実施し、児童の実態を把握する。いじめを覚知したら、全職員で解決を図る。 ・児童の様子等を共有する子供理解研修会を毎月実施し、全職員の共通理解を図る。</td> <td>生徒指導担当</td> </tr> <tr> <td>●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動</td> <td>●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童の割合が85%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」として肯定的な回答をした児童の割合が80%以上</td> <td>・児童生徒の資質・能力を育む授業づくりを推進する。 ・キャリアパスポートを活用し、児童の夢や目標を可視化し、指導へ生かす。 ・ソーシャルスキルトレーニング等を通して児童のよいところを積極的に称賛する。</td> <td>キャリア教育担当</td> </tr> <tr> <td>○ひとりひとりを大切に教育の充実</td> <td>○児童の対応について組織的対応ができていると回答した教師の割合が80%以上</td> <td>・要配慮児童についてケース会議を開催し、情報共有や支援の検討を行う。 ・教育相談に関わる職員研修を実施する。</td> <td>教育相談担当</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">●健康・体づくり</td> <td>●「運動習慣の改善や定着化」</td> <td>●「授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上」となる児童の割合80%以上 ●児童生徒の交通事故数が0(ゼロ)</td> <td>・1週間での運動時間、朝ラン20分、休み時間180分、放課後・休日220分以上を呼びかける。 ・交通安全教室や定期的な安全指導を実施し、交通安全への意識を高める呼びかけ、取り組みを行う。</td> <td>健康部・体育主任</td> </tr> <tr> <td>●「安全に関する資質・能力の育成」</td> <td>●「健康に良い食事をしている」児童の割合が80%以上 ○「朝食をとって登校する」児童の割合が90%以上</td> <td>・生活状況調査と食に関する意識調査を実施する。 ・保健だよりと給食だよりを月に1回以上発行し家庭との連携を図る。</td> <td>健康部・食育担当</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">●業務改善・教職員の働き方改革の推進</td> <td>●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減</td> <td>●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。</td> <td>・教師個々が時間外在校時間を自覚できるよう個人記録を作成する。また、定時退勤日(原則毎週金曜日)を設定する。</td> <td>教頭</td> </tr> <tr> <td>○ICT利活用推進(業務の効率化)</td> <td>●「授業でICT機器を利活用できる」教師の割合が85%以上</td> <td>・児童の実態や学習内容に合わせた、電子黒板や一人一台タブレット端末などのICT機器の有効活用を推進する。</td> <td>教育情報化推進リーダー</td> </tr> </tbody> </table>			重点取組			具体的取組	主な担当者	評価項目	取組内容	成果指標(数値目標)	●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師の割合が80%以上	・学習の定着度を絶えず把握し、個々の課題解決も意図した、実態に基づく教師個々のマイプランを作成・実施する。 ・学習基盤となる児童の語彙力・読解力を高めるため読書や授業内での対話を充実させる。	学力向上コーディネーター	○全教科で自分の考えを伝え合う活動を実践する	○児童の学習活動に対して「場面や相手に応じて自分が考えたことを分かりやすく伝えることができる」と回答した児童の割合が80%以上	・児童が原稿を作らず、その場や相手に応じて、考えて伝える活動を充実させる。 ・友達の発言に反応したり、反応に応じて伝え方を調整したりできるよう指導する。	研究主任・教務主任	●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○ふれあい道徳や人権教室(なかよし道徳)後の振り返りや感想において、肯定的な回答をした児童の割合が80%以上	・道徳や人権・同和教育の研修を共同して行い、授業実践を深める。 ・外部講師を積極的に招き、児童に「命」「仲間」「共生」について考えさせる。	人権・同和教育担当	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめ防止等)についての取り組み、事案対処等)について、組織対応ができていると回答した教師の割合が85%以上	・毎月末に全児童を対象とした「なかよしアンケート」を実施し、児童の実態を把握する。いじめを覚知したら、全職員で解決を図る。 ・児童の様子等を共有する子供理解研修会を毎月実施し、全職員の共通理解を図る。	生徒指導担当	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童の割合が85%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」として肯定的な回答をした児童の割合が80%以上	・児童生徒の資質・能力を育む授業づくりを推進する。 ・キャリアパスポートを活用し、児童の夢や目標を可視化し、指導へ生かす。 ・ソーシャルスキルトレーニング等を通して児童のよいところを積極的に称賛する。	キャリア教育担当	○ひとりひとりを大切に教育の充実	○児童の対応について組織的対応ができていると回答した教師の割合が80%以上	・要配慮児童についてケース会議を開催し、情報共有や支援の検討を行う。 ・教育相談に関わる職員研修を実施する。	教育相談担当	●健康・体づくり	●「運動習慣の改善や定着化」	●「授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上」となる児童の割合80%以上 ●児童生徒の交通事故数が0(ゼロ)	・1週間での運動時間、朝ラン20分、休み時間180分、放課後・休日220分以上を呼びかける。 ・交通安全教室や定期的な安全指導を実施し、交通安全への意識を高める呼びかけ、取り組みを行う。	健康部・体育主任	●「安全に関する資質・能力の育成」	●「健康に良い食事をしている」児童の割合が80%以上 ○「朝食をとって登校する」児童の割合が90%以上	・生活状況調査と食に関する意識調査を実施する。 ・保健だよりと給食だよりを月に1回以上発行し家庭との連携を図る。	健康部・食育担当	●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・教師個々が時間外在校時間を自覚できるよう個人記録を作成する。また、定時退勤日(原則毎週金曜日)を設定する。	教頭	○ICT利活用推進(業務の効率化)	●「授業でICT機器を利活用できる」教師の割合が85%以上	・児童の実態や学習内容に合わせた、電子黒板や一人一台タブレット端末などのICT機器の有効活用を推進する。	教育情報化推進リーダー
重点取組			具体的取組	主な担当者																																																			
評価項目	取組内容	成果指標(数値目標)																																																					
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師の割合が80%以上	・学習の定着度を絶えず把握し、個々の課題解決も意図した、実態に基づく教師個々のマイプランを作成・実施する。 ・学習基盤となる児童の語彙力・読解力を高めるため読書や授業内での対話を充実させる。	学力向上コーディネーター																																																			
	○全教科で自分の考えを伝え合う活動を実践する	○児童の学習活動に対して「場面や相手に応じて自分が考えたことを分かりやすく伝えることができる」と回答した児童の割合が80%以上	・児童が原稿を作らず、その場や相手に応じて、考えて伝える活動を充実させる。 ・友達の発言に反応したり、反応に応じて伝え方を調整したりできるよう指導する。	研究主任・教務主任																																																			
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○ふれあい道徳や人権教室(なかよし道徳)後の振り返りや感想において、肯定的な回答をした児童の割合が80%以上	・道徳や人権・同和教育の研修を共同して行い、授業実践を深める。 ・外部講師を積極的に招き、児童に「命」「仲間」「共生」について考えさせる。	人権・同和教育担当																																																			
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめ防止等)についての取り組み、事案対処等)について、組織対応ができていると回答した教師の割合が85%以上	・毎月末に全児童を対象とした「なかよしアンケート」を実施し、児童の実態を把握する。いじめを覚知したら、全職員で解決を図る。 ・児童の様子等を共有する子供理解研修会を毎月実施し、全職員の共通理解を図る。	生徒指導担当																																																			
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童の割合が85%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」として肯定的な回答をした児童の割合が80%以上	・児童生徒の資質・能力を育む授業づくりを推進する。 ・キャリアパスポートを活用し、児童の夢や目標を可視化し、指導へ生かす。 ・ソーシャルスキルトレーニング等を通して児童のよいところを積極的に称賛する。	キャリア教育担当																																																			
	○ひとりひとりを大切に教育の充実	○児童の対応について組織的対応ができていると回答した教師の割合が80%以上	・要配慮児童についてケース会議を開催し、情報共有や支援の検討を行う。 ・教育相談に関わる職員研修を実施する。	教育相談担当																																																			
●健康・体づくり	●「運動習慣の改善や定着化」	●「授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上」となる児童の割合80%以上 ●児童生徒の交通事故数が0(ゼロ)	・1週間での運動時間、朝ラン20分、休み時間180分、放課後・休日220分以上を呼びかける。 ・交通安全教室や定期的な安全指導を実施し、交通安全への意識を高める呼びかけ、取り組みを行う。	健康部・体育主任																																																			
	●「安全に関する資質・能力の育成」	●「健康に良い食事をしている」児童の割合が80%以上 ○「朝食をとって登校する」児童の割合が90%以上	・生活状況調査と食に関する意識調査を実施する。 ・保健だよりと給食だよりを月に1回以上発行し家庭との連携を図る。	健康部・食育担当																																																			
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・教師個々が時間外在校時間を自覚できるよう個人記録を作成する。また、定時退勤日(原則毎週金曜日)を設定する。	教頭																																																			
	○ICT利活用推進(業務の効率化)	●「授業でICT機器を利活用できる」教師の割合が85%以上	・児童の実態や学習内容に合わせた、電子黒板や一人一台タブレット端末などのICT機器の有効活用を推進する。	教育情報化推進リーダー																																																			
<p>(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">重点取組</th> <th rowspan="2">具体的取組</th> <th rowspan="2">主な担当者</th> </tr> <tr> <th>評価項目</th> <th>重点取組内容</th> <th>成果指標(数値目標)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎「志」を高める教育</td> <td>◎全校児童に「出番」を与え、各々に「役割」をもたせ、頑張りを「称賛」することで児童の「自己有用感」を高める</td> <td>◎「自分は、誰かの役に立っている」と回答した児童の割合が80%以上</td> <td>・児童に短期、中期、長期の目標をもたせ、児童の頑張りに対して、具体的な称賛と励ましを繰り返しながら自信と意欲を高める。</td> <td>研究主任</td> </tr> <tr> <td>○地域連携・地域を愛する人材育成</td> <td>○OPTAや地域と交流する活動への積極的な企画、参加</td> <td>○交流活動で地域の良さに気付き、存続させようと考えた児童85%以上</td> <td>・松原保全活動やSDGsの取組、海洋教育パイニアースクールプログラムを地域との結び付きから自分事として考えさせ、切実感や必要感を持たせる。</td> <td>教頭</td> </tr> </tbody> </table>			重点取組			具体的取組	主な担当者	評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	◎「志」を高める教育	◎全校児童に「出番」を与え、各々に「役割」をもたせ、頑張りを「称賛」することで児童の「自己有用感」を高める	◎「自分は、誰かの役に立っている」と回答した児童の割合が80%以上	・児童に短期、中期、長期の目標をもたせ、児童の頑張りに対して、具体的な称賛と励ましを繰り返しながら自信と意欲を高める。	研究主任	○地域連携・地域を愛する人材育成	○OPTAや地域と交流する活動への積極的な企画、参加	○交流活動で地域の良さに気付き、存続させようと考えた児童85%以上	・松原保全活動やSDGsの取組、海洋教育パイニアースクールプログラムを地域との結び付きから自分事として考えさせ、切実感や必要感を持たせる。	教頭																																		
重点取組			具体的取組	主な担当者																																																			
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)																																																					
◎「志」を高める教育	◎全校児童に「出番」を与え、各々に「役割」をもたせ、頑張りを「称賛」することで児童の「自己有用感」を高める	◎「自分は、誰かの役に立っている」と回答した児童の割合が80%以上	・児童に短期、中期、長期の目標をもたせ、児童の頑張りに対して、具体的な称賛と励ましを繰り返しながら自信と意欲を高める。	研究主任																																																			
○地域連携・地域を愛する人材育成	○OPTAや地域と交流する活動への積極的な企画、参加	○交流活動で地域の良さに気付き、存続させようと考えた児童85%以上	・松原保全活動やSDGsの取組、海洋教育パイニアースクールプログラムを地域との結び付きから自分事として考えさせ、切実感や必要感を持たせる。	教頭																																																			
<p>5 総合評価・ 次年度への展望</p>	<p>●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育</p>																																																						